

# 朝の館内放送

令和4年10月4日

おはようございます、市長の中村健です。

プロ野球の全日程が終了し、ヤクルトスワローズの村上選手が史上最年少で18年ぶりの三冠王を獲得するとともに、日本人選手としての最多ホームラン数も記録しました。

また、海の向こうのアメリカメジャーリーグでは、規定打席と規定投球回の達成という史上初の快挙に向けて、大谷選手の活躍が続いています。

大谷選手については、ご本人の資質や努力は言うまでもありませんが、投手か野手か一本に絞らせることなく二刀流の両立を認めた、当時の栗山監督をはじめとする周りの方々の理解もすごいと率直に感じます。

私たちは、知らず知らずの間に、特定の物事についてこうあるべきだという固定観念にとらわれてしまうことが少なくありません。

固定観念は、未知の物事や出来事について推測し、対処することに役立つ一方、場合によっては様々な可能性を否定し、排除することにもなり得るのだと、大谷選手の例などを通して再認識しました。

また、固定観念を完全に捨てることは容易ではありませんが、自分の中の固定観念を疑ってみることは、生きづらさの解消や価値観の多様性の尊重にも繋がっていくものだと思います。

国家の間での「分断」、国民の間での「分断」が社会的な問題となっている昨今、固い信念は持ちつつも、その一方で、多様な価値観を認める柔軟な感性も持っていたいものです。

新たな境地を開拓していく、若いアスリートの活躍に心躍らせる一方で、自分自身が若い世代の活躍を阻む障壁になるのではなく、それを後押ししていく存在でいたいと改めて思ったこの数日でした。

以上で、朝の館内放送を終わります。